

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年2月26日 No.32

3・1
ピキニデー

海外代表8人参加！

2008年3・1ピキニデーには、すでにお知らせしている海外代表に、新しくジェニファー・スタンフォードさん(カナダ留学生)が加わり、計8人が参加することになりました。あらためてピキニデーに参加する海外代表を紹介します。

美帆・シボさん(フランス) 歌人、アニメ「つるにのって」の製作で著名。ジョゼフ・ガーソンさん(アメリカ) フレンズ奉仕委員会ニューイングランド地域プログラム責任者、ホアン・ハオミンさん(中国) 中国国際民間組織協力促進会(CANGO) 副理事長・秘書長、アバッカ・アンジャインさん(マーシャル) ロングラップ環礁選出のマーシャル諸島共和国前上院議員、イ・ジュンキュさん(韓国) 平和ネットワーク政策室長、エシーバ・ムハンマドさん(エジプト) カイロの国立アイン・シャムス大学外国学部日本語学科助手、イ・ミヨンさん(韓国からの留学生)。

あと3日！最後まで目標達成に全力を

2010年NPT会議にむけ、核兵器廃絶の世論と運動を飛躍させるスタート。2008年3・1ピキニデー集会まで、あと3日。各地で自主目標達成にむけた最終盤の大奮闘が続いています。

すべての都道府県の最後までの大奮闘で、必ず目標達成をなしとげましょう。

奈良県原水協では、近年3・1ピキニデーには4～5名の参加にとどまっていたましたが、今年のピキニデーには、目標4名にたいし11名の参加となっています。この原動力は、民医連の平和活動家の大奮闘。大和高田市にある土庫(どんこ)病院では、事務長さんの奮闘もあり、職場関係者などに参加を広げ10名の参加組織をしています。同病院では被災54年3・1ピキニデー集会を今年の反核平和運動前進の結節点にとりくみを広げ、2月21日から3月13日の期間、病院内で「原爆展」を開催中。最終日には報告会を兼ねた学習会も予定しています。

神奈川県原水協では3・1ピキニデー集会に、自主目標150名を突破し、26日現在153名の参加となっています。2010年に向けた核兵器廃絶運動の飛躍とともに、8月19日とも明示された原子力空母母港化計画を何としても跳ね返そうと、ピキニデーを原子力空母母港化阻止のたたかいを世界に、全国に広げる機会にしようと思意統一。各団体、地域の一人ひとりから参加を確実に広げています。新婦人の32名が参加を予定と先頭に立って奮闘、県労連でも30人参加のうち15人が建設労連、民医連も21名が参加、青年は10人がマイクロバスで参加します。地域でも川崎、横須賀、藤沢、茅ヶ崎などで目標を達成してきています。

埼玉県原水協では21世紀最大の参加を組織。近年50～60名の参加にとどまっていたましたが、100名目標で現在75名。団体、地域の奮闘で参加を広げているのが特徴、必ず目標を達成すると決意新たに奮闘中です。

茨城では、青年たちが3・1ピキニデーに8人で参加します。参加者の一人は、「核兵器は人類絶滅につながる悪魔の兵器であり、なくさないといけない」という平和と戦争に対する青年の正義感があると話します。また、昨年の原水爆禁止世界大会(長崎)に参加した青年から「感動的だった」との話が伝わり、「一緒に行ってみよう」ということになりました。そして今年の3・1が土・日になったことなどが重なったことを生かし参加を広げています。青年たちはレンタカーを借りて3月1日の早朝に茨城を出発し、交代で運転しながら焼津駅を目指すことにしています。